

(別記)

2019 年度由布市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

農業が魅力とやりがいのある職業として選択しうるように、以下に示すような課題を解決することで、安定した経営が可能な農業経営体の育成を図ることが重要である。

水稲・麦・大豆については、経営面積が小規模な農家が多く、各々で機械を所有しているため非効率的な生産体制となっている。野菜や花き、果樹については、高齢化による労働力不足により安定した継続性のある生産が困難であり、競争力の高い生産システムの構築と省力化が重要な課題である。また、酪農及び畜産については、高齢化により辞める農家が増える中、安定した経営が可能な条件づくりが重要である。

2 作物ごとの取組方針等

由布市の地理的・気象的特性を活かして、主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米や麦・大豆等の土地利用型農業と、露地野菜や園芸野菜等の集約型農業の振興を組合せ、食料供給力の強化と消費者のニーズに応じた取組を行う。

(1) 主食用米

農地中間管理機構の活用等を通して、担い手や集落営農への土地の集積と機械の共同利用等を通して、作業の近代化・省力化を推進する。また「大分つや姫」による県産米のブランドづくり等を通して、品種の選定や意識改革を行ない、市場の動向に配慮した売れる米づくりを推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米の単収増を通して、数量払いのメリット増による農業者の生産意欲の向上と農業収入の増加を図る。そのためには、県域設定の追加配分による多収品種の導入や地域の産地交付金による窒素成分の施肥を晩期穂肥等で支援する取組を継続し、同時に作付拡大、団地化の推進を図る。

イ 新市場開拓用米

主食用米の需要が減少していく中で、国内外の新市場を開拓して農業者の所得向上を図る取組を支援し、市内における供給量の確保を目指す。

ウ WCS 用稲

畜産物の生産性の向上と安定的な供給を確保するため、飼料供給体制整備の推進の一環として、WCS 用稲の質の向上を目指した管理の強化に対する取組を支援し、市内における供給量の確保を目指す。

エ 加工用米

実需者の要望に添う安定した供給体制の形成と、担い手へのほ場集積を容易とする

環境形成を推進する。このため、加工用米の作付面積が1ha以上の農業者を対象として産地交付金による支援を行なう。

(3) 麦、大豆、飼料作物

農地中間管理機構の活用等を通して、担い手や集落営農への土地の集積と機械の共同利用等を通して、作業の近代化・省力化を推進する。

さらに、産地交付金において、麦や大豆の単収向上を目指して生産性向上の取組を実施した者に数量払いによる支援を行い、単収増に対するインセンティブを活用して収量増を図る。

(4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、産地交付金により排水対策等の支援を行いながら、現行の栽培面積を維持する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

ニーズと付加価値の高い作物として「甘ねぎ」または「白ねぎ」、「オクラ」や「にんにく」、「とうがらし」、さらに平成31年度からは「ほうれん草」も重点推進品目として選定し、産地交付金において作付の支援を行いながら、作付面積の拡大と併せて品質向上にも努めながら産地化を図る。

また、下記に示すような作物を生産者集団で共同出荷したり、一般野菜や花き等を10a以上作付し、地域内外の直売所やネット等による個人販売等を行なうなど多様な消費者のニーズに合致し、地産地消だけでなく、幅広い販売網の構築を行う農業者に対しても産地交付金で支援を行う。

生産者集団のある作物：

（いちご、トマト、ニラ、（米）なす、ホオズキ、なばな、アスパラガス）

(6) 畑地化の推進

県の指導を仰ぎながら、水田の畑地化を推進する農業者への支援を行なう。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	1,440.0	1,444.0	1,450.0
飼料用米	13.5	15.0	16.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	146.0	151.0	153.0
加工用米	3.0	3.0	3.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	54.8	54.0	54.0
大豆	40.3	39.0	38.5
飼料作物	223.6	233.0	234.0
そば	2.6	3.5	3.5
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	40.2	44.0	46.0
野菜	36.0	41.0	43.0
うち甘ネギ、白ネギ、オクラ、にんにく、とうがらし、ほうれん草	7.0	8.2	8.4
花き	2.2	1.0	1.0
果樹	2.0	2.0	2.0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績） （2018年度）	目標値 （2020年度）
1	麦	麦の生産性向上の 取組（数量払）	麦の収量向上	148kg/10a	200kg/10a
2	大豆	大豆の生産性向上 の取組（数量払）	大豆の収量向上	44kg/10a	100kg/10a
3	甘ねぎ、白ね ぎ、オクラ、に んにく、とうが らし、ほうれん 草	地域重点振興作物 の作付推進助成	交付対象作物の 作付面積拡大	7.0 ha	(7.0 ha) 8.4 ha
4	加工用米	加工用米の安定供 給に向けた取組	1ha以上の加工 用米作付面積の 増大	3.0 ha	3.0 ha
5	高収益作物 （野菜、花卉等）	一般作物 作付推進助成	交付対象作物の 作付面積拡大	31.2 ha	(37 ha) 35.6 ha
6	飼料用米	生産性向上の取組 （晩期穂肥の施 用）	飼料用米の収量 向上	462kg/10a	(440kg/10a) 480kg/10a
7	そば・なたね	そば・なたね助成 （基幹）	そばの作付面積 の増加	2.6 ha	3.5 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。